



日本学術会議 公開シンポジウム

フューチャー・アースの推進と連携：Future Earth Japan Report 2026 へ向けた学術的課題の個別・横断的な整理

日時：2026年9月27日（日）：13:00～16:00

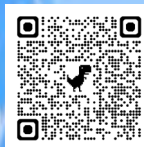
主催：日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会、フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会地球環境変化の人間側面分科会、フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 SDGs の進捗評価分科会、環境学委員会・地球惑星科学委員会
合同 FE・WCRP 合同分科会

後援：フューチャー・アース日本委員会、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所（予定）

場所：オンライン開催（ZOOM）

申込：参加申込 をクリック、または右の QR コードから 9 月 23 日までにお申込みください。
定員 300 名、参加費無料、会議当日までに ZOOM の URL をお送りします。

問い合わせ：山下 潤（九州大学、scjhd2015@gmail.com）



人新世における複雑に絡み合った地球環境問題の解決に向けて、2015 年にフューチャー・アースが本格始動し、10 年が経過しました。本シンポジウムでは、日本における学術的課題を、専門性と学際性、長期的なビジョンと短期的な目標の設定、多様な社会との連携の可視化の視点から個別・横断的に整理し、2030 年の SDGs の先と Well-being を見据えた地球環境問題の解決について議論します。

総司会：近藤 康久（日本学術会議連携会員／大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所教授）

13:00～13:05 開会のあいさつ

沖 大幹（日本学術会議第三部会員／東京大学大学院工学系研究科教授）

【第1部】フューチャー・アースの成果

13:05～13:25 「専門性と学際性」

金谷 有剛（日本学術会議連携会員／国立研究開発法人海洋研究開発機構地球環境研究部門地球表層システム研究センターセンター長）

13:25～13:45 「長期的なビジョンだけではなく、短期的な目標の設定」

吉川 成美（日本学術会議連携会員（特任）／大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所上廣環境日本学センター・センター長・特任教授）

13:45～14:05 「多様な社会との連携の可視化」

山下 潤（日本学術会議連携会員／九州大学大学院比較社会文化研究院教授）

【第2部】フューチャー・アースの展開

14:05～14:35 「フューチャー・アースの将来的課題」

安成 哲三（大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所顧問・名誉教授）

休憩 14:35～14:45

【第3部】パネルディスカッション

14:45～15:55

モデレーター：

谷口 真人（日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所教授）

パネリスト：

江守 正多（日本学術会議連携会員／東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立研究開発法人国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員）

金谷 有剛（日本学術会議連携会員／国立研究開発法人海洋研究開発機構地球環境研究部門地球表層システム研究センターセンター長）

蟹江 憲史（日本学術会議連携会員／慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

亀山 康子（日本学術会議連携会員／東京大学大学院新領域創成科学研究科付属サステナブル社会デザインセンター教授）

岸本 充生（日本学術会議連携会員／大阪大学 D3 センター教授/社会技術共創研究センター長）

安成 哲三（大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所顧問・名誉教授）

山下 潤（日本学術会議連携会員／九州大学大学院比較社会文化研究院教授）

吉川 成美（日本学術会議連携会員（特任）／総合地球環境学研究所上廣環境日本学センター・センター長・特任教授）

15:55～16:00 閉会のあいさつ

浅利 美鈴（日本学術会議連携会員／大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所教授）